

# 昭和大学附属烏山病院だより あおぞら

〔発行責任者〕病院長 岩波 明  
〔編集責任者〕広報委員長 常岡 俊昭  
〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11  
〔電話〕03-3300-5231(代表)

第160号

[2020年11月30日発]

## 令和2年度 昭和大学附属烏山病院公開講座のご報告



精神医学教室 講師 中村 暖

2020年11月14日(土)、令和2年度 昭和大学附属烏山病院公開講座が開催されましたので、講演の内容をご報告させていただきます。私が担当した講演は、「発達障害と依存症」がテーマで、ASD・ADHDとギャンブル障害・インターネット依存の関連を中心にお話致しました。

まず、依存症の中でもギャンブル依存とインターネット依存は突出して患者数が多く、国内だけでもギャンブル依存は320万人、インターネット依存傾向は成人で420万人にのぼると報告されています。このように今日では深刻な社会問題となっているギャンブル依存とインターネット依存ですが、依存に至る原因として発達障害の特性が影響しているケースが多いことが指摘されています。そもそもギャンブル依存・インターネット依存と発達障害は併存率が高いことが明らかになっており、具体的には、外来受診したギャンブル障害患者におけるADHDの有病率が24.9%に達していたとの海外報告があるほか、当院のADHD患者の調査でも18%がギャンブル障害疑いであったとの結果が得られています。また、インターネット依存についても、有病率がASD単独で10%、ASD・ADHD併存で約20%にのぼると報告されています。併存率が高い原因として、ASDでは、興味のある特定の事柄に関するネット情報の収集に没頭しやすいほか、現実生活での対人交流の苦手さからネット上の仮想空間での交流を求める傾向があり、こうした点がインターネット依存につながり易いと考えられます。一方ADHDでは、衝動性の高さ由来する行動制御の障害が、適切な利用時間でネットを切り上げることを困難にしていると指摘されています。

また、当院のC4病棟で2019年度から開始しているインターネット依存の入院治療プログラムについてもご紹介致しました。プログラムの期間はおよそ2ヶ月間で、最初の1ヶ月間はネットから距離を置いてネット使用以外の方法で時間を過ごすための練習として、スマホを手元に置かない状態にして頂きます。その上で、乱れた生活リズムを立てなおすために看護スタッフが生活指導を実施したり、作業療法士と共にOTプログラムに参加してネット以外の活動を生活の中に組み込んでいく練習を行ったりしていきます。また、それと同時に、ネットやオンラインゲームとの現実的な付き合い方を身につけるための認知行動療法を心理士から受けて頂きます。このようにして1か月が経過した段階で、以降は、退院後の生活においてスマホの使用時間をご自身でコントロール出来るようになることを目標に、上限時間を設定した上でスマホの使用をご許可させて頂く形になります。そして、設定した時間内でスマホの使用を終了出来た場合には、使用出来る時間を段階的に増やしていき、使用時間のコントロールを練習していきます。ただし、ネットやゲームに対する依存性が

高く、いきなりスマホが使用出来なくなることに耐えられないような方の場合には、使用時間を設定した上で入院当初からスマホを使用出来るようにするなど現実的で柔軟な方法を心懸けております。

### リハビリテーションセンター 作業療法士 水野 健

烏山病院デイケアで行っている ASD と ADHD の方向けの発達障害専門プログラムや個別での対応についての紹介をしました。

専門プログラムでは、知識を得て、練習するだけでなく、グループだからこそ得られる仲間同士の支え合い（ピアサポート）の力が大きいです。また成人の発達障害の方には、個人の特性や生活歴に配慮した個別での対応を加えたバランスの良い支援が欠かせません。

発達障害の方の社会参加や生活のしづらさには多くの要因が関わっています。ご本人も説明することが難しく、かつ他者からは理解されにくい困難さが多くあります。その中の1つである感覚の問題（感覚過敏や鈍麻）についても触れました。

発達障害に関して、ご本人だけでなく家族を含めた周囲の方々の正しい理解の一助になればと思いお話しさせて頂きました。正しい理解を得ることで、知らないが故に対処できないことや周囲がストレスを与えていた行動を減らすことにもつながれば幸いです。ご参加頂きありがとうございました。



## 精神疾患における MRI 検査の有用性

臨床薬理研究所内医学部循環器内科教授 阿久津 靖

精神疾患患者さんが MRI 検査をはじめとする身体検査をしなければいけない理由は、第一に、一般人口に比べ身体疾患特に生活習慣病を合併しやすいからです。生活習慣病とは、生活習慣が発症原因に深く関与している疾患の総称であり、食習慣・運動習慣・休養・喫煙・飲酒などの生活習慣を指します。日本における死亡に関連する主な危険因子をみると喫煙・高血圧・運動不足・食塩摂取・飲酒が挙げられ、生活習慣が健康維持に重要です。代表的な生活習慣病は、糖尿病・高血圧・脳卒中・心臓病・腎臓病、痛風・消化管潰瘍・骨粗鬆症・高脂血症などです。精神疾患患者さんは、このような生活習慣病に罹患しやすく重症化しやすい特徴を持ちます。統合失調症患者さんは心血管疾患による死亡率が高く、高血圧・高脂血症・高血糖のメタボリックシンドロームは、一般人口に比べ2倍多いです。また精神的ストレスが生活習慣病を増加させ、うつ病は一般人口に比べ糖尿病や癌が発症しやすく、脳心血管疾患のリスクは2倍、心筋梗塞は4倍、心臓死は4倍です。さらに生活習慣病は認知症発症や進行を促進します。抗精神薬投与の副作用により生活習慣病が合併・増悪することもあります。脳や躯幹の MRI 検査は生活習慣病による臓器障害を評価するために必要です。

第二に精神疾患の原因が身体疾患により発症していることがあります。従来精神疾患は、心因性、内因性、外因性という三つの要因から成立すると考えられてきましたが、外因性に分類されるものの中に内分泌疾患などで脳機能に影響を与えるものと、脳外傷や脳梗塞などのように直接脳そのものの障害によって精神症状が引き起こされることがあり、器質性精神障害と呼びます。脳 MRI 検査は、器質的な脳疾患を鑑別するための重要です。

第三に精神症状の増悪・改善が、身体疾患の影響を受けます。精神疾患患者さんは精神症状の変化と脳を含む臓器の障害の変化の経過を定期的に見ておくことが必要で、MRI 検査がとても有用です。昭和大学烏山病院は、2019年9月より3T（テスラ）MRIのハイエンドモデルであるMAGNETOM Skyra fit（SIEMENS社製）が稼働しており、3Tの高磁場強度により高精細な画質を提供でき、微小病変がより正確に診断できます。従来のMRIに比べ圧迫感が少なく静かで負担の少ないやさしい検査環境です。オンラインで画像を昭和大学病院へ転送しており、即座に放射線専門医による診断が可能です。御希望の方は精神科・内科を問わずお声がけください。



## 部署紹介 SPD サービスで、縁の下から病院を支えます

MM コーポレーション 増田 亜希子

私たちは、医療になくてはならない医療材料・医薬品を「必要な時」に「必要な量」だけ、「安心・安全・便利」にお届けし、間接的に患者様の命を守るという意識のもと業務に努めております。

SPDとは、Supply（供給）Processing（加工）Distribution（分配）の略称で、簡単に言えば「物品管理」という意味です。主な業務は、医療材料の発注・納品・管理、病棟配置薬の補充、薬局の医薬品の発注・納品、入院棟への処方箋薬搬送です。年2回、医療材料と医薬品の棚卸や使用期限チェックも行っております。期限切迫の医薬品は、他昭和大学病院と連携を取り期限が切れる前に使用するなど、無駄な廃棄を出さないようにしています。他にも、コピー用紙や鉛筆などの文具や洗剤などの日用雑貨の発注、院内メッセージャーとして書類の回収・搬送など、幅広く皆様のサポートをさせていただきます。

院内スタッフの「かた手間」な業務を取り払うことで、一分一秒でも医療業務がスムーズに行えるよう、これからも全力で皆様のサポートをさせていただきます。

物品のことで何かお困りのことがありましたら、お気軽にお声かけください。



## 部署紹介 栄養科

株式会社グリーンハウス 植松 鋼太



グリーンハウス烏山病院営業所は、管理栄養士2名、栄養士6名、調理師3名、パート従業員25名の計36名で運営しております。社是である「人に喜ばれてこそ会社は発展する」を実践すべく、日々患者様のお食事を提供させていただいております。

お食事に関しては、限られた費用の中で定められた栄養基準を満たした、安全で美味しいお食事を提供できるように務めております。今後は、年末に年越しそば、正月におせち風の食材を使用した献立、1月7日に七草粥の提供を予定して

おります。季節や行事を患者様に感じていただけるよう心がけ、献立を考えております。

また、食事は治療の一環であることから、患者様の状態に応じた栄養管理を行い、栄養状態を維持・改善する事を目的としております。その目的を踏まえ、昭和大学附属烏山病院栄養科の一員として、患者様に喜んでいただけるよう従業員一丸となって職務に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



### 総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時

土曜日 8時30分～13時

電話：月曜日～金曜日03-3300-5329

土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～土曜日・8時30分～11時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《10月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数 7,712 (7,705) 6,306 (5,866)

◇一日平均患者数 248.8 (256.8) 233.6 (244.4)

◆診療実日数 31 (30) 27 (24)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は [k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp](mailto:k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp)



### 【編集後記】

早いもので2020年も年末が迫っております。

2020年は皆様にとってどんな1年だったのでしょうか？2020年はコロナの影響が強く、期待されていた東京オリンピックが延期になる等大きく予定が変更となりました。新たな生活様式が求められ、皆様の生活も大きく変化したことかと思えます。

2021年は2020年より皆様が健康かつ素敵な1年となりますようにお祈り申し上げます。また、2021年も昭和大学ならびに烏山病院をどうぞよろしくお願い致します。

広報委員 佐藤